

	さいたま市立慈恩寺小学校 令和8年10月1日 10月号 〒339-0009 さいたま市岩槻区慈恩寺259 TEL 048-794-1140 / FAX 048-795-0377 学校 Web ページ URL : http://jionji-e.saitama-city.ed.jp/ 
---	--

「わたしたちの「命」を考える～」

校長 望月 泰志

明日(あす)も 進む いのちの日

さいたま市では、9月30日を「明日(あす)も 進む いのちの日」と定めています。これは、2011年、さいたま市内の小学校で駅伝練習中に倒れ、命を落とした 桐田 明日香 さん(当時6年生)の出来事を教訓に、さいたま市教育委員会が制定した命の記念日で、事故から今年で15年が経過します。市内すべての学校では、AED(自動体外式除細動器)の設置場所の確認や一斉点検を行い、学校の安全管理体制を見直す取り組みが行われます。この活動は「ASUKA モデル」と呼ばれ、事故対応の在り方を教育現場で共有し、教職員研修や救命教育の充実を図るものです。

本校でも、全校児童が AED の場所を確認します。そして、緊急時に命を守る行動について、避難訓練、お話し朝会、授業時間などを使って定期的に児童へ指導しています。「もしもの時にどうすればよいか」「誰かの命を救うために自分にできることは何か」を考えることで、子どもたちは命の重みを実感し、互いを思いやる心を育てていきます。また、命を守る行動は特別な技術だけではなく、「AED の場所を知っている」「助けを呼ぶ」「先生に知らせる」など、日常にできることがたくさんあります。こうした小さな行動が大きな命を救う力になることも子どもたちへ伝えています。

命のいれもの

今月のお話朝会で話す内容です。『「4,900,000人」この数は何を表す人数でしょう?』

「答えは、2023年、世界中で5歳まで生きられなかった赤ちゃんの人数です。」(公益社団法人日本WHO協会2024年統計参照)

みんなの中には、親から命を授かり、ごはんを食べること、寝ること、勉強や習い事をする、SNSやゲームをすること等、生きることが当たり前?のように、生きている人はいませんか? 世の中には「生きること」が当たり前にならず、命をおとす人がたくさんいます。この490万人の赤ちゃん達も、きっと、当たり前のように生きたかったでしょうね。

「さて、みんなは命を大切に生きていますか?」 命と言っても、自分の命、家族の命、友だちの命、動植物の命、知り合いの人の命、外国の人の命、昆虫の命、、、たくさんの命があります。いのちを亡くすと、昔からずっとつながってきた「いのちの系」がそこで断たれてしまいます。今まで、長い間、大切に、大切に育まれてきた「いのちの系」。この系は、これからの未来もずっとつながっていきます。だからこそ大切にしなければなりません。命をつないでくれた過去の人のために、そして、未来を生きる自分とつながる人達のためにです。朝会の後半は、以下の絵本を読みます。

【今月の一冊】

「いのちのいれもの」 著者:小菅正夫/絵:堀川 真 出版:サンマーク出版

トコちゃんは、旭山動物園へ出かけました。オオカミ、エゾシカ、ホッキョクグマ、ペンギン等、動物たちが元気に迎えてくれました。でも、トラのイチだけ元気がありません。別の日、動物園へ家族と一緒にでかけると、「喪中」の掲示を見つけました。イチが亡くなったのです。

イチの死に会い、トコちゃんは、いのちについて考えました。「いのちの系」は40億年以上つながっています。

この機会に「命」についてご家庭でも話してみてもいいのではないでしょうか。



- ①費用：１８，０００円の振込は、１０月２日（金）が締め切りです。期日までの振り込みをお願いします。
- ②おこづかい：２，０００円の集金はジッパー付きの袋に名前を書き、お金に入れて提出してください。
- ③保険証：茶色の封筒に名前を書き、提出してください。
- ④持参薬の取り扱い調査票
- ⑤体温記録表
- ※②、③、④、⑤：１０月 ８日（木）に配付します。
- ※①～④：１０月１４日（水）に担任まで提出してください。
- ※⑤：１０月１７日（土）自然の教室当日学校に持ってきます。